

群馬県中小企業団体中央会 第64回通常総会

5月29日、前橋市・群馬県中小企業会館において、第64回通常総会を開催した。なお、本総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模縮小やマスク・消毒等の対策を講じた上での開催となった。

総会に先立ち、令和元年度群馬県功労者表彰を受賞した遠藤祐司副会長、令和2年春の叙勲において旭日双光章を受章した串田紀之副会長の両名に対し、吉田勝彦会長より記念品が贈呈された。



記念品を贈呈される遠藤副会長(右)・串田副会長(左)



感染防止に配慮して開催

通常総会では、355会員(うち本人出席6会員、書面出席349会員)の参加のもと、吉田会長が議長に選任され議事に入り、令和元年度事業報告並びに収支決算書、令和2年度事業計画並びに収支予算等、上程された全5議案が原案通り、可決承認・決定した。

◆◆◆◆◆
今年度の基本方針、重点活動目標は下記の通り。

◇令和2年度の基本方針

中小企業・小規模事業者を取り巻く環境は、人口減少と急速な高齢化等による地域経済の活力喪失、大企業と中小企業との生産性格差、特に経済のデジタル化による業績格差の拡大懸念など、厳しい見通しの中にある。さらに、新型コロナウイルスによる影響が、業種や地域、国内外を問わず、経済全体に幅広く及んでおり、本会会員、組合員企業においても客数・受注量、売上の著しい減少など極めて厳しい状況にある。

これらの認識のもと、中央会では、協同することで経営資源を補完・補強する組合等連携組織を通じ、中小企業・小規模事業者の「生産性向上・デジタル化」「働き方改革」「事業承継」等の課題解決を、国・群馬県等施策を活用して支援していく。

具体的には、新型コロナウイルス感染症の影響対策支援など7つの重点活動目標を掲げ、組合支援という中央会の特長を生かした諸事業に取り組んでいく。提案型・伴走型の支援を一層心がけ、組合運営及び設立支援に加え、必要とされる事業を企画・提案していくとともに、組合及び組合員企業の現状と課題、要望の把握に努め、全国中央会等を通じた政策提言にも取り組んでいく。

◆重点活動目標

新型コロナウイルス感染症の影響対策支援

中小企業組合の活性化支援の強化

環境保全活動の推進

中小企業の生産性向上と
取引環境改善の支援

SDGsの推進

事業承継、事業継続支援の強化

中小企業の人材確保と
働き方改革への対応支援